

第4部 全体交流会

●ファシリテーター自己紹介



若手実行委員
小林リーダー



NPO実行委員
中村大輔先生



自己紹介と4部では200人を超えるみなさんと話し合いをすることを説明。

●ゲストコメンター紹介



嘉田由紀子
滋賀県知事



ファシリテーターが特別ゲストの知事を紹介



知事からあいさつ

知事からは、今日どの府県から来たのか手を上げてくださいと聞かれました。中村先生から出されるお題2つについて、一生懸命考えてくださいとのお応援メッセージがありました。

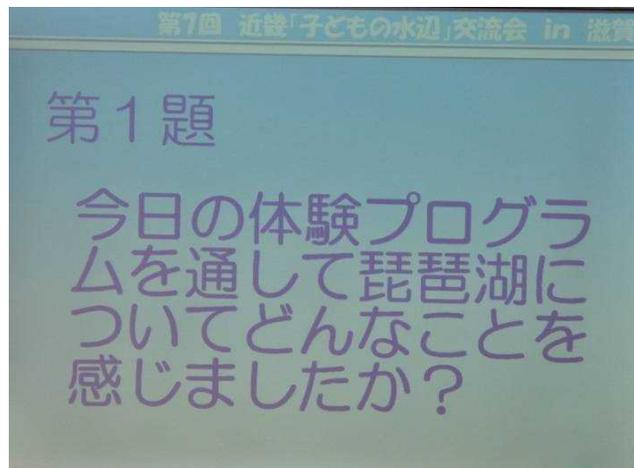
●ファシリテーターから1 題目のお題の説明

中村先生から全体交流会で話すお題の説明がありました。

1題目は、『今日の体験プログラムを通して琵琶湖についてどんなことを感じましたか?』というお題。

今日、学習船「うみのこ」に乗って体験した「プランクトン観察」や「琵琶湖の水の透明度調べ」、「船からの琵琶湖展望」などを通してどんなことを感じたかを、まずはA～Eのグループで話し合い、それを各グループの若手コーディネーターが出た意見を発表するというものです。

話し合いの時間は5分。早速スタート。



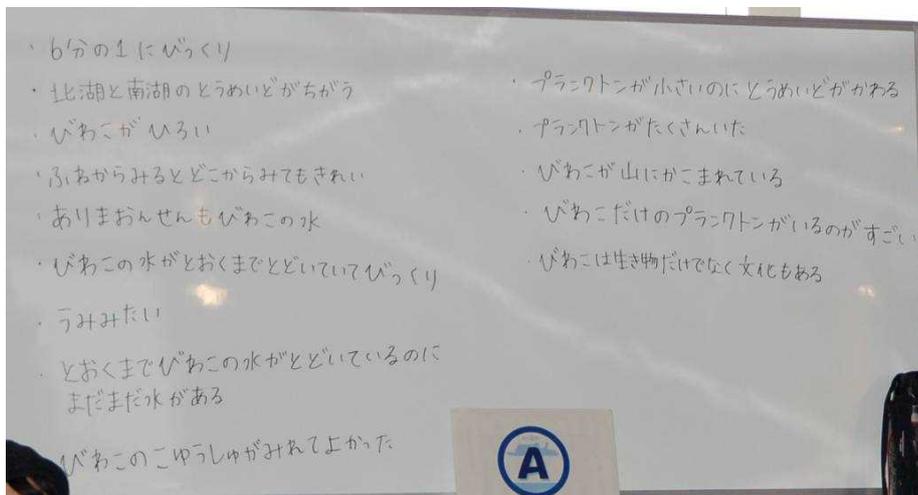
第4部 全体交流会(意見交換 第1題)

今日の体験プログラムを通して琵琶湖についてどんなことを感じましたか？

(各グループいくつかでも)

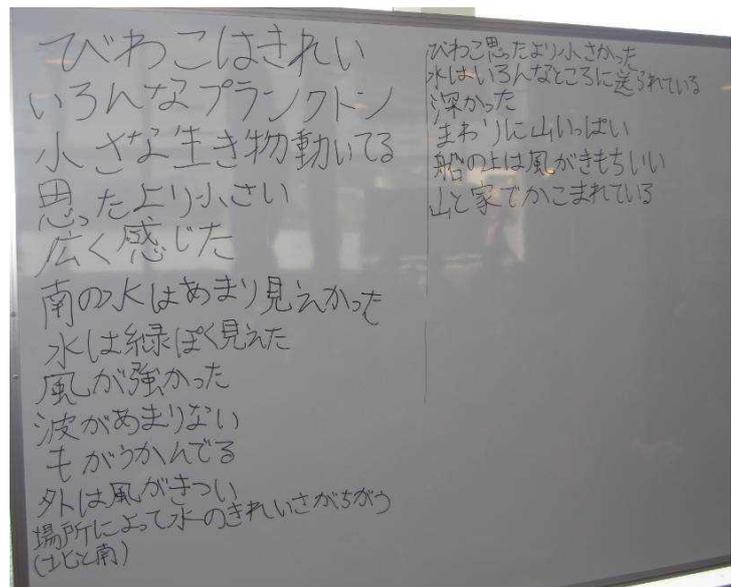
A グループ

- 琵琶湖が県の面積の1/6にびっくりした
- 琵琶湖が広い
- 有馬温泉の水が琵琶湖の水
- 海みたい
- 琵琶湖の固有種が見れてよかった
- プラクトンがたくさんいた
- 琵琶湖だけのプラクトンがいるのがすごい
- 北湖、南湖で透明度が違う
- 船から見るとどこから見てもきれい
- 琵琶湖の水が遠くまで届いていてびっくり
- 遠くまで水を配っているのになくなる
- プラクトンは小さいのに透明度が変わる事
- 琵琶湖が山に囲まれていた
- 琵琶湖には生き物だけでなく文化もある



B グループ

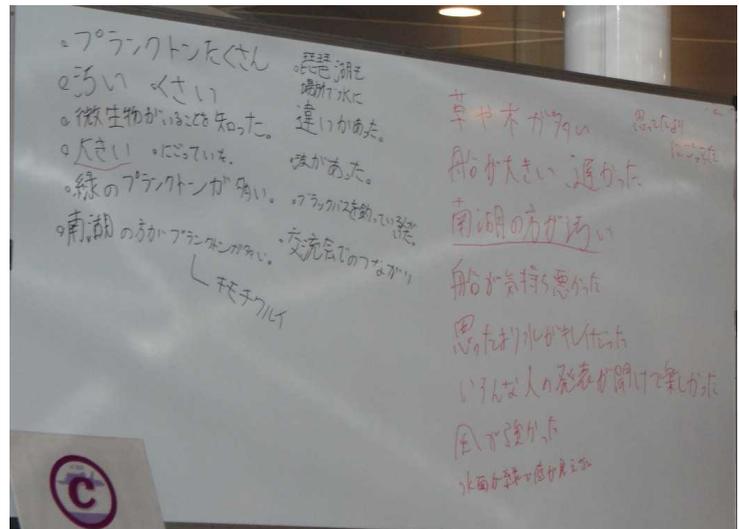
- 琵琶湖はきれい
- 小さな生き物が動いている
- 広く感じた
- 湖は青だと思っていたが、緑っぽく見えた
- 波があんまりなかった
- (うみのこの)中は暑く、外は風が強い
- 琵琶湖の大きさが滋賀県の6分の1と小さい
- 周りに山がいっぱい
- 琵琶湖は山と家に囲まれている
- いろんなプランクトンがいる
- 思ったより小さい
- 南湖の水は(透明度が)あまり見えなかった
- 風が強かった
- 藻が浮かんでいた
- 場所によって水のきれいさが違う
- 琵琶湖の水はいろんな所に送られている
- 船の上は風が気持ちよい





グループ

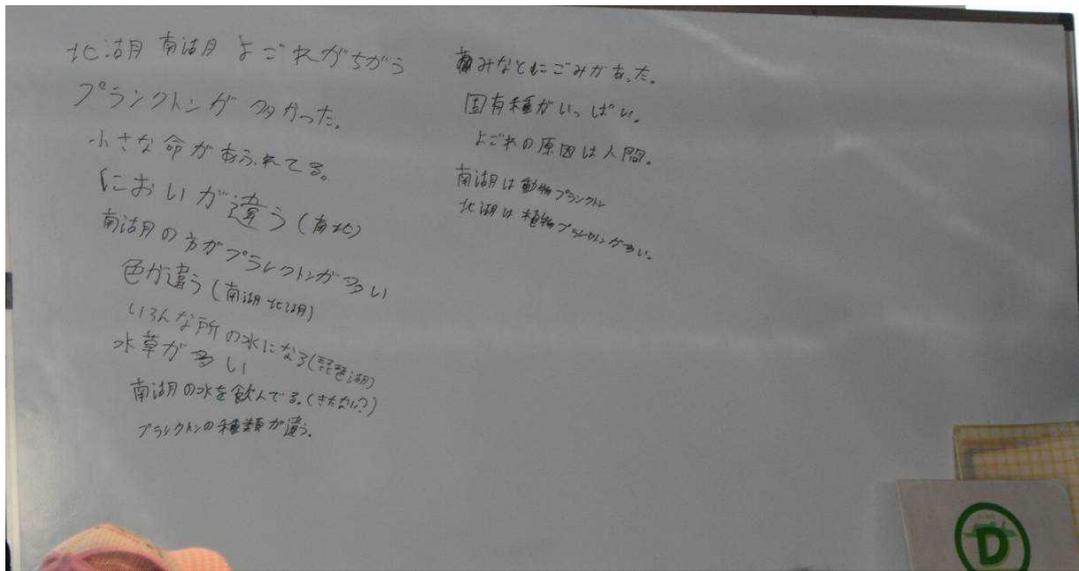
- 汚い
- 大きい
- ブラックバスを釣っている人がいた
- 北湖より南湖の方が汚かった
- プランクトンがいることを初めて知った
- プランクトンが多かった
- プランクトンは南湖に多かった
- 船が大きく、遅く感じた
- いろんな人の発表が聞けて楽しかった
- くさい
- 波があった
- 琵琶湖も場所で水に違いがあった
- 思ったより水がきれいだった
- プランクトンが気持ち悪かった
- 緑色のプランクトンが多かった
- 風が強かった
- 船酔いして気持ち悪かった





グループ

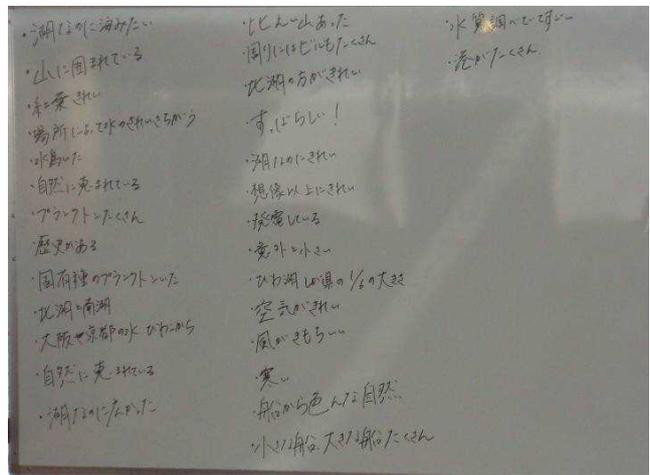
- プラクトンが多かった
- プラクトンの種類が違う
- 南湖は動物プラクトン、北湖は植物プラクトンが多い
- 北湖と南湖で汚れが違う
- 北湖と南湖でにおいが違う
- みんな南湖の水を飲んでいる(汚いのになぜ?)
- 港にゴミがあった
- 小さな命があふれてる
- 南湖の方がプラクトンが多い
- 固有種がいっぱい
- 北湖と南湖で色がちがう
- 琵琶湖がいろいろな所の水になっている
- 水草が多い
- 汚れの原因は人間





グループ

- 湖なのに海みたいに波が立っていた
- 琵琶湖から見える紅葉がきれい
- 同じ琵琶湖の水なのに場所によってキレイさが違うとわかった
- 琵琶湖の周りにはビルが多く次に山が多かった
- 水の中にプランクトンがたくさんいた
- 大阪や京都の水は琵琶湖から引いている
- 比叡山が琵琶湖の近くだと知らなかった
- 北湖はキレイで南湖は汚かった
- 琵琶湖はスバラシイ
- 琵琶湖は以外と小さかった
- もっと大きいと思っていたけど山が見えた
- 湖なのに港がいっぱいあった
- 水質を自動で調べているのがすごかった
- 山に囲まれている
- 湖なのに広がった
- 寒かった
- 水鳥が多い
- 自然に恵まれている
- 北湖と南湖があったことを初めて知った
- 船からいろんな自然が見えた
- 想像以上にキレイだった
- 滋賀県の1/6と知った
- 船で発電しているのがすごい
- 風が気持ちよかった
- 小さな船、大きな船がたくさんあった



●各グループから1題目の発表

各グループの若手コーディネーターから発表してもらいました。



Aグループ
小澤お兄さん



Bグループ
立花お兄さん



Cグループ
北野お兄さん



Dグループ
川村お兄さん



Eグループ
平塚お姉さん

話し合う時間はたった5分でしたが、たくさんの感想が出されました。

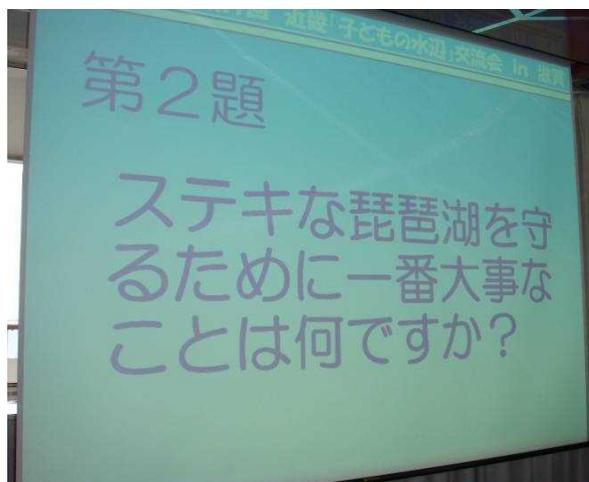
●ファシリテーターから2題目のお題の説明

中村先生から2題目の説明がありました。

2題目はグループで協力して考えないと答えが出せないような問題が用意されていました。

「普段水辺で活動しているみんなだからこそ、こんなお題を用意しました。」という説明の後、『ステキな琵琶湖を守るために一番大事なことは何ですか?』というお題が出されました。

また、先生から「いきなり一番大事なことを話すのは難しいので、先生から話し合いのヒントとして、まず大事なと思うことをたくさん出し合って、ある程度出たらその中から一番大事なことは何かをみんなで話し合って決めてみよう。後で各グループから代表の子どもにどうしてそれにしたのか理由と一緒に発表してもらいます。時間は8分です。」の説明のあと、話し合いがスタートしました。



第4部 全体交流会(意見交換 第2題)

ステキな琵琶湖を守るために一番大事なことは何ですか？

(各グループ1つだけ)

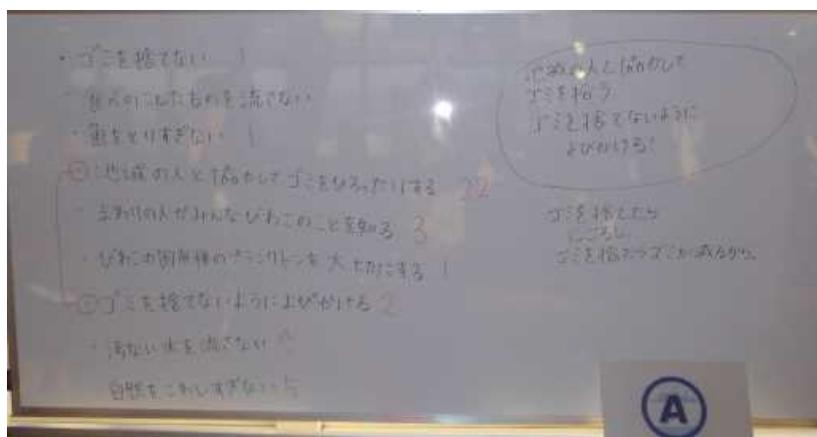
A グループ

- ゴミを捨てない(1)
- 食べ残しを流さない(0)
- 魚をとりすぎない(1)
- 地域の人と協力してゴミを拾う(22)
- 周りの人に琵琶湖のことを知ってもらう(3)
- 琵琶湖固有種のプランクトンを大切に(1)
- ゴミを捨てないように呼びかける(2)
- 汚い水を流さない(4)
- 自然を壊しすぎない(5)

最終的には多数決により全体に発表する意見を決定。()は多数決の結果

『地域の人と協力してゴミを拾う。ゴミを捨てないように呼びかける。』

理由：ゴミを捨てたら水がにごるし、ゴミを拾ったらゴミが減るから。



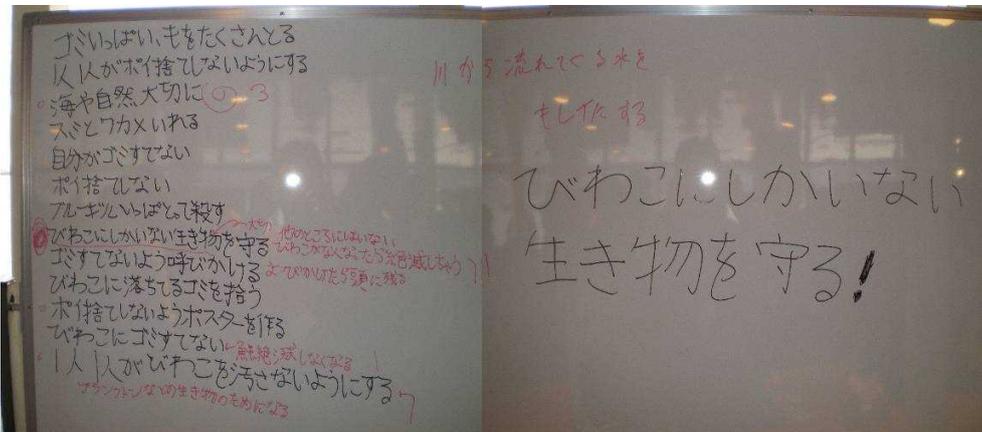
B グループ

- ゴミをいっぱい取る(0)
- 海とか自然を大切に(3)
- 自分がゴミを捨てない(0)
- ブルーギルをいっぱい取る(0)
- ゴミを捨てないように呼びかける(0)
- ポイ捨てしないようポスターをつくる(0)
- 1人1人が琵琶湖を汚さないようにする(7)
- 1人1人がポイ捨てしない(0)
- 炭とかワカメをいれ水をきれいに(0)
- ポイ捨てしない(0)
- 琵琶湖にしかいない生き物を守る(11)
- 琵琶湖に落ちているゴミを拾う(0)
- 琵琶湖にゴミを捨てない(1)

最終的には多数決により全体に発表する意見を決定。()は多数決の結果

『琵琶湖にしかいない生き物を守る。』

理由：琵琶湖だけにしかいない。大切だから。琵琶湖がなくなったら絶滅するから。



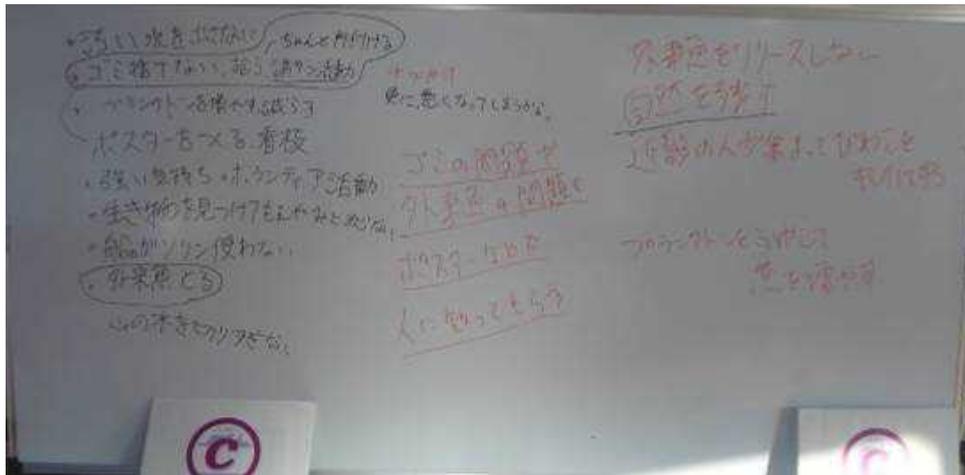
グループ

- ゴミを捨てない
- 外来魚をいれない
- むやみに生き物を捕まえない
- 自然を残す強い気持ちをもつ
- 琵琶湖をきれいにする活動を行う
- ゴミを拾う
- 外来魚をとる
- 船はガソリンを使わない
- 山の木をとりすぎない
- ゴミを捨てないような看板をつくる

出た意見をまとめると、全体に発表する意見は以下のとおりとなりました。

『ゴミ問題や外来魚問題をポスターなどで知ってもらおう。』

理由：琵琶湖の周りには、ゴミの問題や外来魚の問題を知らない人がたくさんいるから。



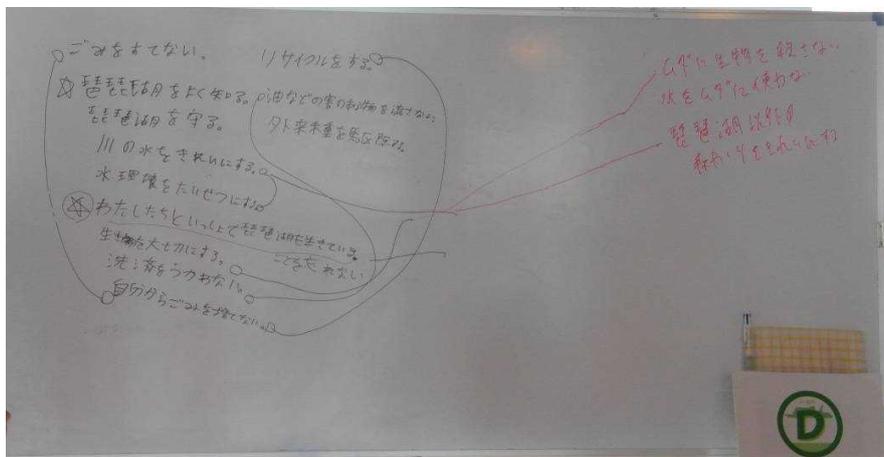
グループ

- ゴミを捨てない
- 水をきれいにする
- 洗剤を使わない
- 私たちと一緒に、琵琶湖も生きている
- 油など害のあるものを流さない
- 琵琶湖以外の森や川もきれいにする
- 琵琶湖をよく知る
- 水環境を大切にする
- リサイクルをする
- 琵琶湖を守る
- 生物を大切にする
- 外来種を駆除する
- 自分からゴミを捨てない
- 無駄に生物を殺さない
- 水を無駄に使わない

出た意見をまとめると、全体に発表する意見は以下のとおりとなりました。

『私たちと同じで、琵琶湖も生きていることを忘れない。』

理由：生きているということは、生き物を大切にする、川や琵琶湖の水をきれいにする、ゴミを捨てないなど全てを含んでいるから。





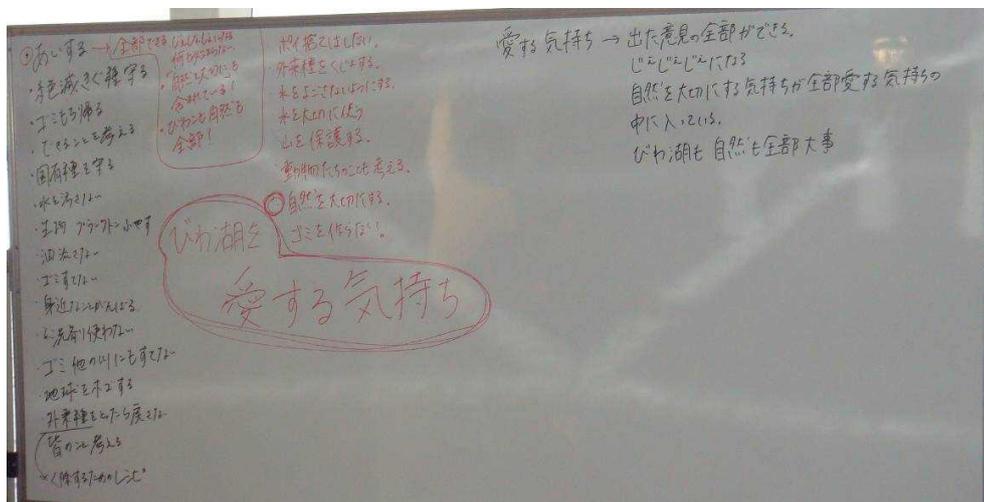
グループ

- 琵琶湖を愛する気持ち
- 外来種を駆除する
- 油を流さない
- 身近なことを頑張る
- 自然を大切に
- 自分たちにできる事を考えて行動する
- 琵琶湖だけではなく、琵琶湖に流れる川にもゴミを捨てない
- 絶滅危惧種を守る
- 固有種を増やす
- プランクトンを増やす
- 動物たちのことを考える
- みんなのことを考える
- ゴミを捨てない、持って帰る
- 水を汚さない、水を大切に使う
- 湖以外の山とかを保護する
- リンの入った洗剤を使わない
- そもそもゴミを作らない
- 外来種を美味しく食べるレシピを考える

出た意見をまとめると、全体に発表する意見は以下のとおりとなりました。

『琵琶湖を愛する気持ち』

理由：琵琶湖を愛する気持ちがあれば、考えたこと全部のことができるから。



●各グループから2題目の発表

各グループ代表の子どもに発表してもらいました。

A



川とあそぼう♪大和川クラブ
ひらた はつね さん

『地域の人と協力してゴミを拾う。ゴミを捨てないように呼びかける。』

理由：ゴミを捨てたら水がにごるし、ゴミを拾ったらゴミが減るから。

B



子どもと川とまちのフォーラム
よしだ こうすけ くん

『琵琶湖にしかない生き物を守る。』

理由：琵琶湖だけにしかない。大切だから。琵琶湖がなくなったら絶滅するから。

C



寝屋川市立成美小学校 飼育委員会
まきせ いちか さん

『ゴミ問題や外来魚問題をポスターなどで知ってもらおう。』

理由：琵琶湖の周りには、ゴミの問題や外来魚の問題を知らない人がたくさんいるから。

D



TANAKAMIこども環境クラブ
なかすじりこ さん

『私たちと同じで、琵琶湖も生きていることを忘れない。』

理由：生きているということは、生き物を大切にする、川や琵琶湖の水をきれいにする、ゴミを捨てないなど全てを含んでいるから。

E



玉ーアクアリウム
たかつじ だいげん くん

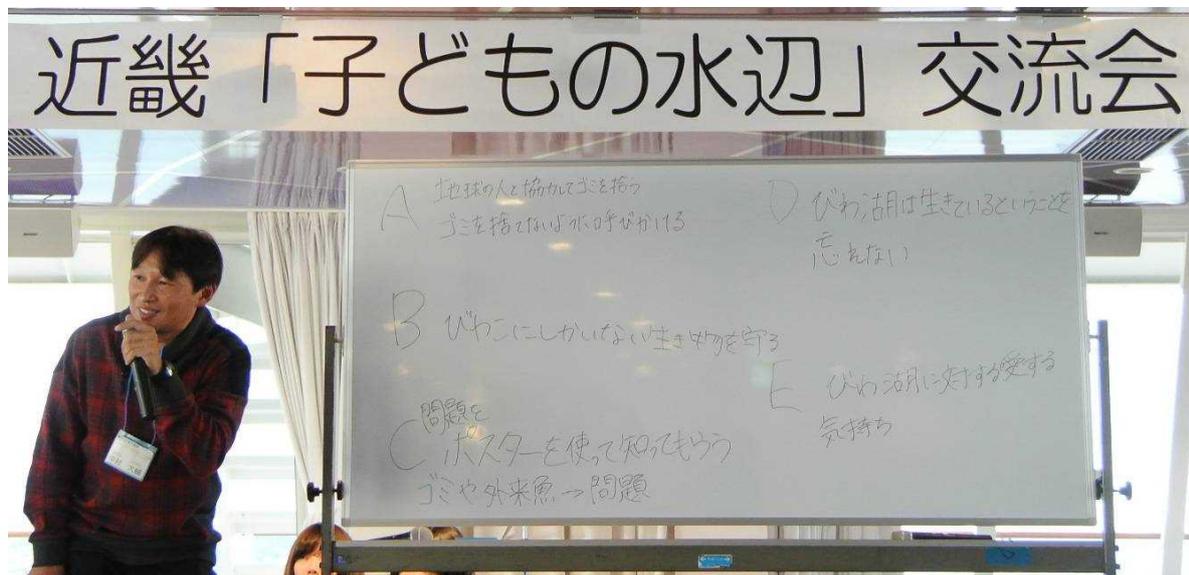
『琵琶湖に対する愛する気持ち』

理由：琵琶湖を愛する気持ちがあれば、琵琶湖や自然に対して考えた全てのことができると思ったから。

第4部 全体交流会(参加者全員による意見交換)

●参加者全員による意見交換会

中村先生から、「ここからは参加者全員で話し合います。決めるのは大変やと思うけど、各グループから出た5つの大事なもののうち、どれが一番だと思いますか」と聞かれ、たくさんのお子さんが手をあげて発表しました。



発表者：D 滋賀県 TANAKAMI子ども環境クラブ
たけむら よしゆき くん

意見：『B 琵琶湖にしかいない生き物を守る』

理由：琵琶湖にしかいない生き物は、琵琶湖の誇りとかになるんじゃないかと思って、大切にしたらいいと思いました。



発表者：B 京都府 NPO法人子どもと川とまちのフォーラム
しょうじうぶ さん

意見：『D 琵琶湖は生きているということを忘れない。』

理由：この琵琶湖がなくなると、水も来なくなって色々な魚が死んでしまうから、琵琶湖も生きていることを忘れないということが大切かなと思いました。



発表者：C 滋賀県 エコアイデアキッズびわ湖 (アイキッズ)
つつみ まいか さん

意見：『E 琵琶湖に対する愛する気持ち』

理由：琵琶湖を愛していたら、琵琶湖にゴミを捨てたりする人はいなくなると思うから。

(前のページから)



発表者: B 滋賀県 ホタルの学校
うつみ たくやくん

意見: 『A 地域の人と協力してゴミを拾う。ゴミを捨てないように呼びかける。』

理由: 理由は特になくけれども、こっちの方がいいと思った。



発表者: E 大阪府 エコロジー美園小
すぎもと みるくん

意見: 『E 琵琶湖に対する愛する気持ち』

理由: これがあるからこそ、ここに書いてある全部のことができる。



発表者: C 兵庫県 三浦 悠里
みうら ゆうりくん

意見: 『D 琵琶湖は生きているということを忘れない。』

理由: 琵琶湖を生きていると思えば、ゴミも捨てないと思うし、琵琶湖が汚れると、人の生活にも関わってくるし、生き物も減ってしまうから。



発表者: E 京都府 宇治市立広野中学校科学部
なかむら れおくん

意見: 『A 地域の人と協力してゴミを拾う。ゴミを捨てないように呼びかける。』

理由: みんなで協力したら川の汚れも減るし、協力することが大切だから。



発表者: C 京都府 木津川管内河川ツアー活動に参加している子どもたち・NPO法人やましろ里山の会木津川子ども部会

はせがわ しんくん

意見: 『C ゴミ問題や外来魚問題をポスターなどで知ってもらおう。』

理由: 木津川を愛する気持ちとかも、結局伝えてゴミを拾ったり、外来の駆除をしたりすることにつながると思うから。

(前のページから)



発表者： D 兵庫県 アシレンジャー
おだ けいご くん

意見： 『E 琵琶湖に対する愛する気持ち』

理由： Dの琵琶湖は生きていることを忘れないことが、Eの琵琶湖を愛する気持ちに入るから。



発表者： C 大阪府 寝屋川市立成美小学校 飼育委員会
まきせ いちか さん

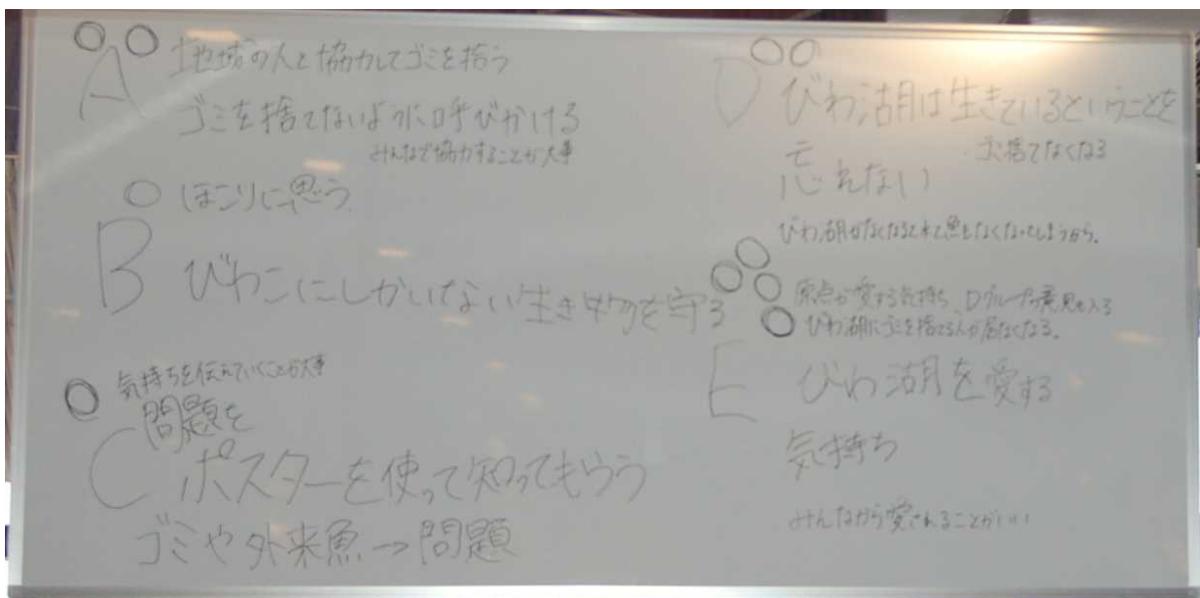
意見： 『E 琵琶湖に対する愛する気持ち』

理由： 他の川とか湖とかあるけど、琵琶湖は広いし、周りにいっぱい山とかがあるから、みんなから愛された方がいいと思ったから。

中村先生から、「いろいろ意見が分かれているようだけど、嘉田さんはどんな風に思っ
たのかな？」と知事に感想を聞きました。



- ・昭和49年から琵琶湖の周辺の人々が琵琶湖とどう関わってきたか研究して40年やってきた。今日、みんなの意見は全部私が考えてきたことをたった1日でカバーしている。ショックなんです。
- ・みなさんが今日、出してくれた意見は、琵琶湖が過去40年、50年抱えてきた全ての問題をカバーしている。すごいですよね。
- ・下手に行政の専門家に話を聞くより、みんなに聞いたほうが本質に入っていくのかなど、期待が持てました。
- ・そして、5つの大事なこと。実は、すてきな琵琶湖を守るために県が進めている政策にも、スフッと入ってきます。



中村先生から、「今お話にあったように、どれがっということやってきたが、どれも大事っということ。実はもう一つお話を嘉田さんは用意されています。」と知事のお話を聞きました。



・琵琶湖の価値あるいは環境の価値というものを40年研究した私が到達した結論は、大切なものの価値は大きく3つぐらいに分かれることです。

・1つはモノとしての価値、魚だったらその魚は食べられるかどうか。食べられるということは、使用価値があるということです。

・ゴミの問題が出ていました。なぜゴミになるのか。このペンは使うから、ゴミではない。でも、落ちていたらどうですか。廃棄物処理法の大切なところは、使えるかどうかと使う意思を持った主体があるかどうか。使う意思を持った主体がなければ、モノとしては使用価値があってもゴミになります。

・ゴミの問題としては、使用価値のあるもの、例えば琵琶湖の木材（流木）を使って、小屋を建てた人がいます。昔は、糞を飼料につかっていた。ゴミの問題というのは使い捨て時代で、まだまだ使えるのに、いらぬよといって、みんなが捨ててしまうから、使用価値を忘れた問題です。

・みなさんの中でA班、使用価値を忘れずゴミにしないでおこう、というのが一番大事な問題です。協力してというのは、人と人のつながりの協力。協力価値というのはふれあい価値になります。

・2つめはイノチの価値。ピワコオオナマズ（固有種）は食べてはだめです。これは、ピワコオオナマズは水神様を運ぶ魚だから。いることが大事。存在することに価値があるということです。

・B班と愛ですね。存在すること、いることに価値がある。生態系の中に存在していることに意味がある。ここを大切にしていこうというのがイノチの価値です。琵琶湖は生きているというのはイノチの価値に近いですね。

・3つめはココロの価値。ピワコオオナマズは水神様を運ぶ。琵琶湖には神様がいます。神様がいるそういうところだから、誇りをもって琵琶湖を大事にしよう。琵琶湖を愛するというの、まさにこのココロの価値を表しています。

・ココロの価値。みんなが愛したら、ゴミの問題も、固有種の問題も、解決するんだよねというのは、大変大事なメッセージですけども、問題はココロの価値は、県の行政とか国が琵琶湖を愛して、愛しなさいと法律に書かれたらどうします。いやだよね。愛するというの自分のココロの中から出てこないといけません。

(前のページから)



・だから、法律であるとか政策では、なかなか言えないので、今のプリントの裏のページを見てください。これは今、滋賀県が進めている、琵琶湖の総合保全という図です。みんなの意見が全部はっています。だから私は負けたといったんです。ここにみんなの大事だねといった5つのことみんな入っているんですよ。

・1つは琵琶湖流域生態系の保全・再生。難しいことを言っていますが、イノチの価値です。固有種を守ろう。外来種は遠慮して、帰ってね。そして、琵琶湖の中には生き物のつながりがいっぱいある。プランクトンの話もできました。植物プランクトンや大きい魚がいるから、琵琶湖の生態系が成り立つ、ピワコオオナマズが生きていける。だから、生態系の保全というのが大変大事です。

・でも、それだったら、私たち人間係わらなくていいということになってしまいます。どこかに書いていますかね、琵琶湖にいろいろ問題があるのはみな人間が原因だということを考えると、暮らして湖の係わりを取り戻すことで、いろんな問題は解決・改善するんじゃないの、個人、家庭の中で、個人の中に実は愛するというのがあるんですけど、県の政策ですから書いてません。みなさんのココロの中から生まれてくる具体的な持ち方だから。

・そして、ここには地域のみなさんで協力なさいということで、それぞれの地域で人々が琵琶湖といろんな係わりをもち、葦帯を守ろうと、葦刈をしたり、田んぼに魚を入れたりして固有種を確保したり、いろんなつながりをすることが琵琶湖の総合保全のひとつの柱になっています。2つの大きな柱、イノチの柱と係わりあいの柱、ここが2つ県の総合保全の中にあります。

・まとめは、5つのこれ、全部大事なんです。そして、広報ということもありました。これは方法として大事なんです。県の関係者もそれぞれ受け止めて、今回は近畿の水辺は琵琶湖でしていただきました。来年は京都ですね。素敵な川や水辺がありますので、来年京都で会えたらいいなと思います。

知事のまとめを受けて、ファシリテーターの二人からまとめと感想が述べられました。



(小林お兄さん)

- みんなは今日1日うみのこで体験をして、自分たちの発表をして、最後こうやって交流をして、知事の貴重なお話も聞けたということで、みんな違ったようにとらえていると思います。
- だから今日の経験を、ぜひ身近な人、お友達や先生でもいいです。おとうさん、おかあさん、おじいちゃん、おばあちゃんでもいいです。誰かに伝えてください。
- そしてここにいる中学生も、後ろの方でそれぞれしている小学生も、真ん中の方にいらっしゃる大人の方も、僕たち大学生も、いつも指導してくださる年配の方々も、みんな世代が違います。そしてこれから生まれてくる子供たちもたくさんいることでしょう。
- そんな中で世代を超えて水辺の素晴らしさを、これからもみんなで伝えていきたいと思います。みなさんも伝えていってください。



(中村先生)

- 子どもの交流会だから、みんなをほめたいと思います。すごいです。嘉田さんに言ってもらったように、全て大事で、それをたった1日で出会ったみんなでの考えをまとめていく、みなさんのパワーがすごいなと思いました。
- みんなにおみやげがあるよね。というのは、みんなは共通していることがあるよ。同じ近畿というだけでなく、琵琶湖の水を飲んでいるというのも多くの方は共通しているけれども、普段水辺で活動しているよね。今日出たのは琵琶湖に限らないよね。
- 今日一生懸命考えて出した結論、ゴミを拾うこととか、生き物を守ることとか、ポスター書いて知らせることとか、生きていくということを忘れないこととか、愛することは、みんなの活動する水辺でも同じなんじゃないかな？
- 今日はみんなの考えがまとまって、地元に戻った後のヒントももらえたと思います。また近畿には、これだけたくさんの一生懸命真剣になって、環境のことを考えられる仲間がいるってことを知れたこと、大きな勇気になったんじゃないかなって思います。
- 先生からもお礼をいいます。ありがとうございました。



(小林お兄さん)

- では最後に、今日こうやってはじめた会った近畿のみんな、水辺の仲間、お互いに拍手をして終わりたいと思います。ありがとうございました。(拍手)

第4部 全体交流会

閉会式

司会の南部お姉さんの進行で、閉会式が始まりました。



(南部お姉さん)

・ただいまより閉会式に移ります。では始めに嘉田由紀子知事よりごあいさつ申し上げます。

(嘉田知事)

・ひとつ約束してください。
・今日こうやってみんなで出会って自分の水辺と琵琶湖の違いとか、他のグループの発表を聞いて、違うなーとか一緒だなーとか思ったかもしれない。交流することで、実はかけ算の効果があります。

・人が2人と3人で、足したら5だけど掛けたら6。3と3だったら、足したら6だけど掛けたら9。掛け算の効果といいます。

・みんな今日こうやって出会って、掛け算の効果を発揮してもらって、来年また京都で近畿の水辺交流会で、お会いすることを約束して、関係者みなさんのご努力にみんなで拍手でお礼をして閉じたいと思います。どうも関係者のみなさんありがとうございました。



(南部お姉さん)

・次に来年度開催府県の京都府よりメッセージをいただきます。



(京都府・板屋理事)

・みなさんこんにちは。京都から参りました板屋と申します。

・本日は朝早くからお疲れ様でした。

・今日この交流会を支えていただいた滋賀県庁の事務局の方々、NPOの実行委員の方々、そして若手実行委員の方々、行政の方々のご協力のもとで無事に成功に会議が終了したということでございます。

・次回は京都で開催することとなります。京都には琵琶湖のように大きな湖があるわけではありませんけども、歴史や文化、伝統のある鴨川や桂川などたくさんの川があります。そういったものを次のテーマとして、自由にお話をしていただく機会にしたいと思っています。元気な顔で来年京都でお会いしたいと思います。それではみなさんよろしくお祈りします。

(南部お姉さん)

・以上をもちまして、第7回近畿子どもの水辺交流会を閉会します。

